

# 名伯楽 子供の成長が糧

12月に開催された近畿中学校駅伝で、北条中学校陸上部女子が5位入賞を果たしました。部活の顧問の先生と連携し、アドバイザーとして生徒の活躍を支えてきたのが、宮永年郎さんです。中学校の体育教師を38年間務め、退職後も陸上教室で小中学生を指導しています。今回は、指導の中身や子どもたちとのかわり方についてお話を伺いました。

照明に照らされた1周200mの土のグラウンドで、子どもたちに「もっと腕を振って」「足は高く上げる」と声を掛けます。北条東小学校。ここをホームグラウンドに活動している「MTランニングクラブ」。今から4年前、加西市初の陸上クラブチームとして誕生しました。主に平日の17時45分から約2時間、小学1年生から中学3年生まで53名の子どもたちを指導している宮永さん。練習を見学していると、子どもたちがみんな、とても礼儀正



ダッシュを繰り返す子どもたち。フォームをチェックし、一人ひとりに声を掛ける。

しいことに気付きました。「ここでは陸上を学びながら、礼儀やマナーなども身に付けられるよう、生活指導も兼ねて教えています」と話します。クラブチームの理念を聞くと、「陸上選手を育成する傍ら、人を思いやる心を育てていく。誰でも気軽に参加できるクラブです」そう笑みを浮かべて教えてくれました。

## 夢の体育教師へ

小野市出身で、縁があつて加西市へ。住み始めて約40年が経ちます。学生時代は陸上部で800mと1500mを専門に活躍。研究熱心で教えることが得意だったこともあり、夢は「体育教師になること」でした。目標を定め勉強にも励み、教育実習で生徒たちと接していく中で教育現場の楽しさを実感。そして教員試験に合格し、晴れて中学校の体育教師として働くことになりました。「日々充実はしていますが、毎日帰るのは遅いし、土日は部活動。家と学校の往復だけでしたね」。加西には寝に帰るだけ、そう当時を思い返しました。

## 集まれ！陸上好き

加古川でも週に2日は陸上を教えています。加西の教室と合わせると1日も休みはありません。「野菜作りが唯一の息抜きかな」と一瞬顔がほころぶ。獲れた野菜は子どもたちにお裾分けすることもあります。



その日の目標を立てて本数をこなす。しんどい練習も声を掛け合い走り抜ける。

加古川市高砂市組合立宝殿中学校。初めて赴任した学校です。陸上強豪校であり楽しみでしたが、顧問がいなかった女子バスケットボール部を担当することになりました。当時の心境を聞くと「不安はなかったですね。専門的なことは分からないが、何とかやる」と。決して楽観ではなく、今までスポーツをやってきた自負があったからこそその言葉とがあるという男子バスケットボール部の先生に聞きに行くんです。葛藤もあつたというが、専門知識の重要性に改めて気付かされました。専門外の部活動に配属されたことは大きかったといい、子どもたちに教える難しさを感じることができ、次につながる貴重な経験となりました。

## 指導者の原点

女子バスケットボール部での指導は1年で終了。2年目には、専門である陸上部へ配置となり、以降は、赴任した全ての学校で陸



小森賢一さん（左）設立時から宮永さんと一緒に子どもたちの指導にあたる。

上部の顧問を務めることになりました。上部の顧問を務めることになりました。コツは「見る」こと

定年までに4つの中学校で指導にあたりました。特に中学生の場合は、指導者で成績が左右します。「大事なものは、絶えず生徒の様子を見ること」だと宮永さんは力説します。総合的に普段から見ているら、短距離が専門の子にも、「長距離をやってみたら？」と声を掛けることができる。実際にそれで、種目を転向して、高校では中心選手となり、その後大学、教員指導者として活躍する教え子もたくさんいたといいます。また、生徒の体調の変化も瞬時に見て取れるといい、一人ひとりに合った練習法を提供することができるようになります。

きちんと生徒に向き合っていくことに加えて、目標を持たせて走らせたことで、中部中で近畿大会優勝（※当時は全国大会はなく近畿大会が最高）、陵南中、山手中で全国大会で2度ずつ優勝と好成績を収め、名指導者として活躍します。

「先生はとても幸せな仕事だと思っています。頑張っている子も、つまずく子もいるけれど、卒業してから活躍を連絡してくれるのは嬉しいことですね。」

## 子どもの成長を応援

「地元で強いチームがあるとみんなが応援してくれる。盛り上がるんじゃないかなと思う」。地域の活性化を目的に、教員生

今、クラブチームには野球やサッカーをしていて、その体力づくりとして練習に参加している子もいます。また、土曜日は、大人の方と一緒に練習ができ、子どもたちにとっては色んな事が学べる良い機会となっています。「加西には陸上が大好きな大人がたくさんいます。そういう方にも応援してもらって、自分がやれる間は指導者として子どもたちの伴走をしていきたい」と今後について語りました。

最後に、クラブでの目標を何うと「陸上を好きでやりたいという子を一人でも多く育てていくこと」と微笑む。宮永さんの下で育つ未来の有望選手はこれからも増えていき、長年培った確かな指導法で、子どもたちは大きな目標に向かって今日も笑顔で走りま

## キラリびと vol.21

宮永年郎 Toshiro Miyanaga

昭和27年生まれ。学生時代は中距離選手として活躍。大学卒業後、加古川市で中学校の体育教師となり、陸上部の顧問を務める。4度の全国制覇を成し遂げ、指導者として有名な存在に。専門の中長距離だけではなく、短距離の指導も行。趣味は野菜作り。

# すっぴん かさい 1月

広報

表紙	01
キラリびと 宮永年郎	02
新春対談 加藤登紀子さん × 民輪めぐみ教育長	04
新年のごあいさつ	08
市政情報	09
TOPICS ねっぴ～Payからお年玉!	09
イベントカレンダー	14
まちかど PHOTO ★ニュース	16
くらしお役立ち情報	20
わくわく子育て情報	25
そうだ! 図書館へ行こう	26
かさい消防ニュース	
おくやみ/各種相談	27
とびだせ! かさいっ子	28
がんばれ! 松本隊員 みんなで使おう加西弁	

## KASAI データバンク

R4.11.30 現在 (前月比)

人口/ 42,338人 (-33)

男/ 20,749人 (-16) 女/ 21,589人 (-17)

世帯数/ 18,340 (7)

11月の出生数/ 15人 死亡数/ 58人

● 1/11、25 は市民課・国保医療課窓口を延長 (17:15 ~ 19:00)